



2024年度

高校生のための書道講座

主催 安田女子大学 文学部 書道学科

午前は、高等学校芸術科書道で扱われる古典から褚遂良の書を取り上げます。書道を効果的に勉強するためには、「習う手本を自分で選ぶ」ことが大切です。選んだ古典のどこが良いのか自分で見つけ、そして自分の考えを持つことが大事です。褚遂良の書を初めて習う人も多いかもしれませんが、古典の習い方の一つを提示します。

午後は、古筆（平安・鎌倉頃の仮名の書のこと）を取り上げます。古筆は鑑賞・蒐集の対象となったことにより、様々な形に仕立て直されました。また、その華麗な筆致を引き立てる料紙へも関心が寄せられ、装飾技法の再現に数多くの研究者、職人が挑んできました。絢爛豪華な料紙に着目し、実際にいくつかの技法を用いて自分のオリジナル料紙を作ってみましょう。

〔場 所〕 安田女子大学 7号館 3階 7306 書道教室
広島市安佐南区安東 6丁目 13-1 (アストラムライン「安東(ヤスビガシ) 駅」下車)

〔開講日時〕 8月8日(木) 10:00～15:30

〔内 容〕

午 前	<10:00～12:00> 「褚遂良の書の魅力とは」 (講師: 谷口邦彦) 初唐の三大大家の一人、褚遂良の書には「雁塔聖教序」(楷書)や「枯樹賦」(行書)がありますが、同時代の他の作品に比べ軽快に細く書かれます。しかし、その線は強靱で鋼(はがね)のような粘りを備えているようにも見えます。書論に言う「褚河南(褚遂良のこと)は都(すべ)て逆起」を、言葉だけで理解して書いてもうまくいきません。また、その特徴的な線質と文字構成との関係についても一緒に考え、説明できるようになりましょう。
午 後	<13:00～15:30> 「料紙装飾の実践と鑑賞」 (講師: 井田明宏) 仮名の書の魅力を引き立たせるものとして、美しく装飾された料紙があります。色とりどりに染めた紙を切り継いだり、金銀箔で装飾したり、その美は多くの技法によって支えられています。本講座では本格的な料紙装飾を体験するとともに、一流の技法で制作された料紙を鑑賞することで、料紙の美しさをより深く味わうことを目指します。制作した料紙は持ち帰ることができます。

〔参加費〕 無 料

〔受講対象〕 高等学校に在学中の生徒
(これから書道を始めたい人・書道が上手になりたい人・書道に関心のある人)

〔その他〕 半紙・墨・筆等の用具は用意しますが、使いやすい筆などを持参しても構いません。
昼食はご持参いただくか、学内のまほろば食堂・セブンイレブンをご利用ください。

〔申込先〕 高等学校名、学年、氏名(ふりがな)を TEL・FAX またはメールにてお知らせください。
安田女子大学 文学部 書道学科事務室 (田畑)
TEL・FAX: (082) 878-7725
E-mail: shodo.box@yasuda-u.ac.jp

※午前、午後の方の参加および当日参加も歓迎します。お気軽にお越しください。

本講座は、教育ネットワーク中国の web サイトにあります「大学からのお知らせ」により緊急時のお知らせ(災害時の開講有無等)を確認することができます。

<http://www.enica.jp/>

書道展示室において、
第18回全国高校生<S-1>グランプリの
グランプリ作品を展示しています。
是非、お立ち寄りください。

書道展示室

